



志高錬成

志を高もち、よりよい成果を得るために、ねばり強く、自分を鍛える

生徒の表現力・読解力の向上を目指して初めて取り組んだ「English Day」と「アウトプット読書」について、生徒による評価を行いました。「英語を聴く力が高まった」「(英語に) 興味関心を持てるようになった」の質問項目に対して、『5：そうおもう』『4：だいたいそう思う』と答えた生徒は、1・2年生ではいずれも40%前後でしたが、3年生ではそれぞれ64%、55%と半数以上の生徒が取組による効果を感じており、その成果が授業へ向かう姿勢や標準学力検査 CRT の結果でも少しずつ表れてきております。「English Day」ではこれまでに1年生10名、2年生10名(含D組2名)、3年生12名(含D組1名)がお昼の放送で英語スピーチをしており、清流祭のステージ発表者と合わせるとのべ41名が、全校へ向けて英語で夢や会話活動などを表現してくれました。今後も生徒の興味関心を高めつつ、英語の表現力を高める活動として大切にしていきたいと思っております。また、「アウトプット読書」についても「読解力を高めることに役立った」の質問事項に対して、『5：そう思う』『4：だいたいそう思う』と答えた生徒は、1・2年生で45～46%、3年生では64%と高い値となっており、生徒の読書への意識の変化から効果を感じております。コミュニティスクール推進委員からもこの取組を幼稚園や小学校でも実施していきたいとのご意見をいただいております、今後も継続していきたいと思っております。

しかしながら、これらの質問事項に対して、『2：あまり思わない』『1：そう思わない』と答えた生徒は1・2年生では20%前後いることから、今後に向けて実施方法等を検証する必要性も感じております。今年度も残すところ1ヶ月となりましたが、これらの取組と連携させながらも、普段の授業において生徒の一人ひとりの力を伸ばす授業づくりに取り組んでまいります。

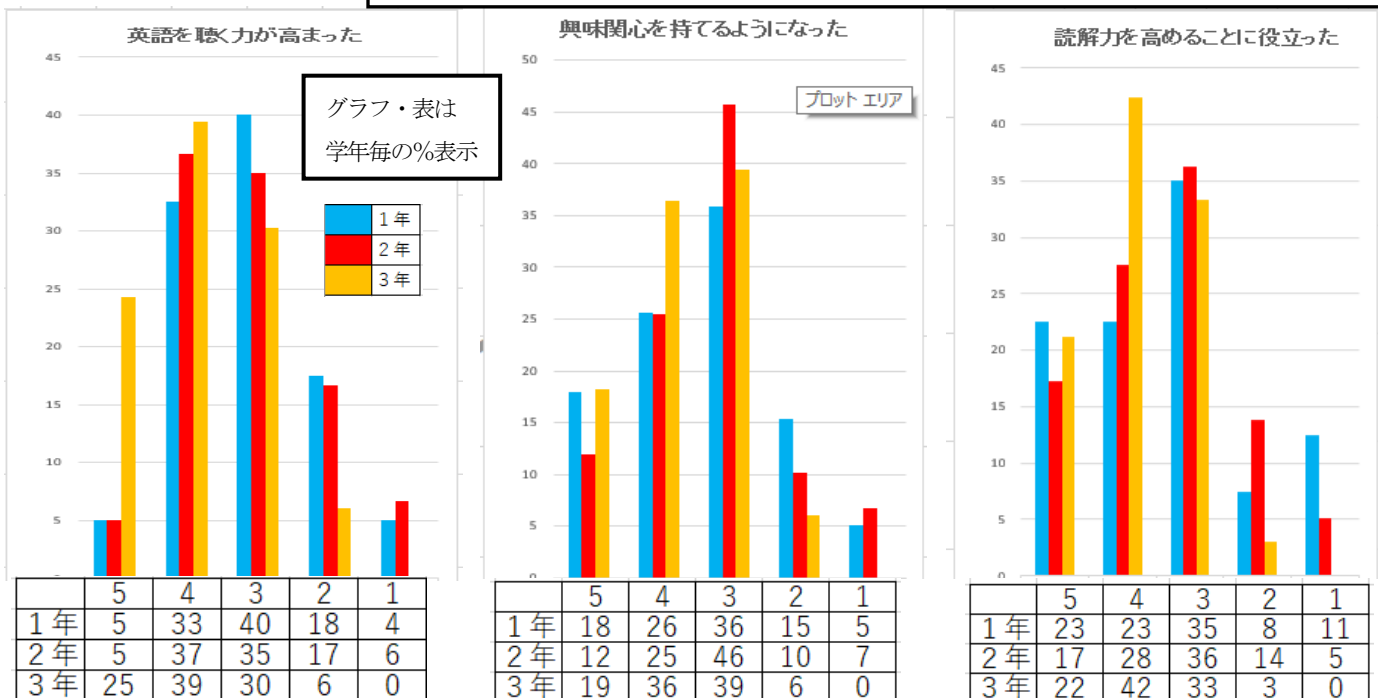
【English Day の実施内容】

- 毎週木曜日にお昼の放送で英語スピーチを実施(毎回1～2名)
- ALTによる英語なぞなぞ(昇降口掲示)の解説、及びALTと英語科教員との英会話

【アウトプット読書の実施内容】

- 朝読書の時間を使い指定された小説等を用いて、題名からの内容予想や読書感想記入、発表等を全校やクラスで実施

生徒評価： 5 そう思う 4 だいたいそう思う 3 普通 2 あまり思わない 1 そう思わない



【多くの活動にご理解ご協力をいただきました】

15日(月)に本年度最後となる浅科小・中学校コミュニティスクール推進委員会を開催いたしました。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、回数を減らし、全て中学校部会のみでの委員会となりましたが、いずれの会でも生徒がもつ可能性を引き出し、伸ばすことができるよう様々な視点からご意見をいただきました。今後は本会で出された意見を新年度の学校運営にいかせるよう、各活動計画の作成に取り組んでいきたいと思えます。

尚、中学校コミュニティスクール運営委員の皆様には本年度も「3年生の学習支援」「中山道宿場太鼓指導」「社会福祉支援」「部活動ストレッチ指導」など、多くの活動にご理解ご協力をいただきました。ありがとうございました。

【出された意見・学校関係者評価】

- コロナ禍であったが、各行事活動に臨機応変に取り組んでいただけた。家庭にいる時間も自分を見つめ直す機会と前向きに捉え、家庭のあり方も問われた。
- いじめを察知することで、その対応への有効性が見られる。いじめは常にあると考えたい。
- アウトプット読書は思考を練る取り組みとして大切にしていきたい。
- 授業改善についてすぐ本題に入る授業→前時に問いで終わる授業について考えてみてはどうか。
- PTAで学校図書館の充実に寄与していきたい。
- 何事もインプットは誰でも出来る。これから必要なことはアウトプットできる力を身につけること、アウトプットできると言うことは主体的であり、深く理解していることにつながる。
- 不登校やいじめの対応を今後も大切にしてほしい。
- GIGAスクールが始まるが、活用について学校全体で考えていけるとよい。



美しい山々を背景に登校する3年生

【わたしたちの住みたい・つくりたい未来の浅科】

過日、佐久市役所企画課主催で、中学2年生を対象にした第2次佐久市総合計画 後期基本計画策定のための中学生ワークショップが開催されました。この取組は総合計画(期間:H29~R8)にある基本構想について、市を取り巻く社会経済の情勢の変化などに対応し、今後の計画の実効性を担保するための見直しを進めるに当たり、これからの佐久市を担う中学生の想いを計画づくりにいかすことを目的としたものであり、本校が初回となりました。ワークショップでは「わたしたちの住みたい・つくりたい未来の浅科」をテーマとして、グループ毎に「地域の好きなところ」「地域の変えたいところ」「どういう地域だったら住み続けたいか」「今とこれから、将来のために自分ができること」について意見を出し合い、発表を行いました。どの生徒も付箋に自分の考えを真剣に書き込む姿が見られ、まとめに準備された模造紙に収まらないぐらいの意見が出されたグループもありました。

2年生はこれまでに職場体験学習をはじめとしたキャリア教育に取り組んできており、今回もその一環となるたいへん貴重な学習の機会をいただきました。今後も宿泊学習や総合的な学習の時間の取組を通して、生徒が夢を持ち、自信につながれるよう計画的にキャリア教育を進めてまいります。



表現力の向上を感じたグループ発表